

「壊憲」「共謀罪」に反対

市民連合会見 野党共闘を強化へ

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合（市民連合）は16日、衆院第

一議員会館で会見を開き、安倍政権与党の自民・公明によって今週にも衆院での採決強行が狙われて



記者会見する（左から）中野、土井、山口、岡、高田の各氏
16日、衆院第一議員会館

いる「共謀罪」法案を廃案にし、安倍首相による改憲を全力で阻止していくと強調。市民が声をあげ、野党共闘を強化していく」と表明しました。↓関連⑤面

「共謀罪」法案について岡さんは、「国がしていることがおかしいと思っても、声すらあげられない状況になるんです。私は政府に付度せず、反対の声をあげていきます」。

会見には、中野晃一（上智大学教授）、土井登美江（総がかり行動実行委員）、山口二郎（法政大学教授）、岡歩美（市民連合みえ・呼びかけ人）、高田健（総がかり行動実行委員会共同代表）の各氏が参加しました。

記者から野党間の連携について問われた中野さんは、「互いに別の理念をもつ野党は、本来、共闘などしません。安保法制反対のときも、市民から『野党は共闘』の声が起こり、その声に耳を傾けるなかで共闘をつくっていった」と発言。高田さんも「いま全国各地で『市民連合』ができ、野党と一緒にたたかっている。共闘は力強く進んでい

る。共闘は力強く進んでい

る。共闘は力強く進んでい